



有限会社 瀬戸口瓦工場

事業概要：普通のシラスを細骨材として用いた
軽量断熱シラス瓦の製造販売

主要製品：シラス和瓦 「HITTO-BAN S-49」
シラス洋瓦 「ユーロベスト S-30」
シラス大判瓦 「石娘 S-24」
セメント平板瓦 「シーファー 33」

12

会社概要 2010年9月現在

設立 1977年（昭和52年）5月

従業員数 3人

代表者 代表取締役社長 瀬戸口 一郎

所在地 〒895-2104

鹿児島県薩摩郡さつま町

柏原3100番地

連絡先 TEL.0996-53-1078

FAX.0996-52-3720

setokuchi@mountain.ocn.ne.jp



加圧脱水成形法によりシラスの欠点を克服し、軽量性と断熱性に優れた環境にやさしい屋根材の開発に成功。



セールスポイント 未知なる可能性を 秘めた素材です

近年の住宅産業に求められている、軽量、断熱、低コストなどを目的にシラス瓦の研究開発を行いました。鹿児島県工業技術センターの技術指導を頂き、加圧脱水成形によりシラスの欠点を克服し、軽量で断熱性に優れた環境にやさしいシラス瓦が完成しました。当社では平成14年からシラス瓦を販売開始し、すでに2万3300㎡の施工実績があります。厄介者とされてきたシラスを商品化することによって、夢を与える宝の資源となりました。

製品紹介

普通のシラスが 軽量断熱シラス瓦に!

普通のシラスを細骨材として用いた、シラス瓦の製造販売を行っています。従来のセメント和瓦「HITTO-BAN」のシラス製品化に加え、シラスの軽量性を活かしたシラス大判瓦「石娘 S-24」（従来の和瓦の約2倍の面積）の製品化にも成功しました。大判瓦の実用化は九州では初めてであり、シラスの軽量性と施工方法の工夫により、セメント和瓦に比べて屋根全体で最大35%の軽量化が可能です。また、優れた断熱性を有しています。



専務取締役からのメッセージ

地球環境にやさしい「ものづくり」

シラス瓦の研究開発を通して、「ものづくり」の面白さと難しさを改めて教わりました。シラス瓦は、焼物の瓦と違って焼成しないため、CO₂削減にも貢献でき、素材、製造工程、リサイクルや処分時において環境への負担を最小限に抑えることが出来る、人にも環境にもやさしい屋根材です。「鹿児島にはシラスがあるからいいですね」と他県の方から言われ、改めてシラスとの出会いに感謝しています。



専務取締役
瀬戸口 和徳さん

ここが
自慢!

数ある軽量屋根材の中でも、シラス瓦は「自然素材」の軽量屋根材として県内外から注目を集めています。鹿児島市の県営住宅（9100㎡）、県外のグループホーム（2500㎡）などでも使用して頂きました。

表彰・選定

特許第 3787595 号「高耐久性シラス瓦およびその製造方法」
(2006)
九州地方発明表彰鹿児島県支部長賞
(2009)
九州・沖縄地域部会 合同成果発表会 優秀賞受賞 (2010)

シラス瓦の製造工程

①シラスふるい



普通のシラスをふるい、5mm以下のものを使用します。

②混合・攪拌



専用の混合機で原材料の混合と攪拌を行い、モルタルを製造します。

シラス セメント 水
+
砕 砂

③加圧脱水成形



モルタルをプレス成形機の型にセットし、プレス成形します。

④塗装



室内養生、水養生、自然養生（4週間以上）を行い、自動塗装ラインで塗装します。

今後の
目標地域資源の活用で
地場産業を元気に!

現在、石綿（アスベスト）を含有する屋根材を使用している建物は、全国で約 500 万棟もあると推定されています。石綿含有屋根材は、耐用年数が短いために改修・葺替工事が必要となります。構造的にあまり荷重をかけられないこのような建物も、軽量シラス瓦では施工が可能です。住宅産業が低迷している中、地場産業も危機的状況に陥っていますが、シラス瓦が鹿児島県産品として展開する事で地場産業が共に発展出来るように努力します。

会社案内図

